

所信表明（令和8年第1回錦江町議会定例会）

1、はじめに

令和7年12月の町長選挙におきまして、2期目の付託をいただきました。2期目も引き続き住民の皆さんのご期待に応えられるよう精進してまいります。

令和8年第1回錦江町議会定例会にあたりまして、私の町政についての方針や重点施策に関する考え方を申し上げます。

2、政策理念

町政を進める上での政策理念（目指すまちの姿）として、第3次錦江町総合振興計画のビジョンである「すべての人が自分らしく幸せなまち」を実現できるよう施策を進めてまいります。

3、4年間の政策実行方針

私はこれまでの1期4年間、直面する地域課題解決と将来へ向けた投資を、同時並行して進めてまいりました。

中でも、公共交通の確保のためのマイナンバー活用型の相乗りタクシー制度や担い手不足支援のための特定地域づくり事業協同組合の設立や外国人との共生社会づくり、高齢化が進む中での認知症フレンドリーなまちづくりや有償ボランティア制度を活用した下駄ばきヘルパー制度、利用期に来ている森林再生のための仕組みづくりや企業との連携、少子化対策として保育園留学や山村留学、成長支援型奨学ローンの設置、そしてキャリア教育の充実など、厳しい社会環境の中でも「明るい兆し」を見いだせるよう全力で取り組んでまいりました。

第3次錦江町総合振興計画のまちの目指す姿である「すべての人が自分らしく幸せに～人と人、人とまち、人と自然の共生するまち」を目指しつつ、これからも引き続き、小さな幸せを実感できる錦江町づくりに邁進してまいります。

4、具体的行動目標

私は、これまでの取組に加え、これからの4年間で「政策実行の加速期」と位置づけ、次の5つの元気を実現するため、事業を推進してまいります。

（1）働く世代の元気

錦江町の主産業である農林水産業の振興、担い手の確保・創出及び子育て世代への支援に取り組み、まちを引っ張る産業の振興を推進していきます。

具体的施策としては

- ① べぶドックや営農支援AIなどデータを活用した農林水産業経営基盤の強化
- ② 養殖稚魚の人工種苗の割合向上
- ③ 国内外市場への農産物加工品販売実証
- ④ 環境保全型農業、水産業の実証
- ⑤ 病児・病後児保育の導入
- ⑥ 特定健診受診率向上・デジタル活用による生活習慣の見直しと早期対策
- ⑦ 外国人材等の多文化共生社会の推進
- ⑧ 子育て支援住宅の整備
- ⑨ 重要インフラである事業者の継承支援

(2) 子どもの元気

子どもの成長環境を整え、社会で活躍できる人材育成や自己肯定感が高く、実社会で果敢に挑戦できるための、世代ごとのキャリア教育やコミュニティづくりを推進していきます。

具体的施策としては

- ① 放課後子ども見守り活動及び拠点の整備
- ② 子どもの遊び場づくり
- ③ 保育園留学、親子山村留学の拡充・連携
- ④ 療育が必要な未就学児の支援強化
- ⑤ 先端技術を含むキャリア教育のメニュー拡充
- ⑥ 切れ目のない英語教育の更なる拡充
- ⑦ 子ども起業クラブの実証実験
- ⑧ 補助教材・修学旅行費用の支援継続
- ⑨ コミュニティ食堂の設立・運営支援
- ⑩ 生活困窮者・自殺対策事業
- ⑪ 地域産業を生かす食育推進
- ⑫ 全身の健康維持に必須の虫歯・歯周病の全世代予防事業の展開

(3) 高齢者・障がい者の元気

高齢者や障がい者等が自立した生活を送れる環境や機会の創出のため、安心して暮らせる助け合いと健康寿命を延ばす、地域見守り型福祉の充実を推進していきます。

- ① 認知症フレンドリーコミュニティ構築促進事業の継続、強化
- ② 多世代・多様な人が集える場づくり
- ③ 地域ごとの生活支援を行う下駄ばきヘルパー制度の拡充
- ④ ノウフク連携への参加事業者の拡充
- ⑤ 地域サロン活動や有償ボランティアの拡充
- ⑥ 避難行動要支援者台帳の毎年見直し・更新
- ⑦ 在宅医療連携拠点事業の継続、推進
- ⑧ 肝属郡医師会立病院の整備支援

(4) 自然・環境の元気

水資源等の自然環境の保全や二酸化炭素排出削減に努め、循環型社会の実現及び森林と里山の維持・再生を推進していきます。

- ① 森林伐採時の植林誘導事業の強化
- ② 企業等と連携した再造林事業推進
- ③ 小中学生の木育活動の推進
- ④ 断熱効果のロールモデルとなる学校等断熱ワークショップの推進
- ⑤ 森林ビジョンの策定
- ⑥ 海の森づくり事業（林業者と漁業者等の共創による豊かな海づくり）
- ⑦ 一般住宅等のZEH化・断熱化支援
- ⑧ 森林残さ等の再資源化実証実験

(5) 地域の元気

地域の自律的な活動を支援するとともに防災減災も配慮した安心・安全な地域づくり

を自治会や公民館と一体となって目指すとともに、多様な関係人口づくりを推進していきます。

- ① 小中学校跡地の魅力化プロジェクトの推進
- ② 伝統文化や音楽、芸術等を感じられる場づくり
- ③ 災害に強い国道 269 号の強じん化促進
- ④ 大隅縦貫道（吾平大根占田代道路）の整備に向けた用地取得推進
- ⑤ 肝属郡医師会立病院の整備完工と開院支援
- ⑥ 上水道施設の強じん化計画策定と小規模集落水道維持支援
- ⑦ 商店と買い物弱者を結ぶ宅配システムの構築
- ⑧ 体験型就労のワーキングホリデーの実証
- ⑨ 大学等や企業との連携による知識と産業が連関する地域づくりの実証事業の推進

5、おわりに

錦江町は海岸地域、中山間地域、山間森林地域の3つに大別される標高差 500mの地形に、88 の自治会、10 の地区公民館というコミュニティが形成され、約 6 千人の町民の皆さんが生活しておられます。

東部から中央部にかけて肝属山地が広がり、西日本最大級の照葉樹林が広がる稲尾岳周辺は四季折々の豊かな景色を見せる一方、鹿児島湾側には雄川と神ノ川の二つの清流が流れこみ、千畳敷の石畳のある花瀬自然公園や神川大滝公園など、自然環境と景観に恵まれ、農林水産業を基幹産業とした生業で地域が形成されています。

一方、近年の加速化する少子化や人口減少により、町内各所に解決が難しい課題が表出していることも事実で、特に高齢化は都市部の 30 年先の姿を呈しています。

このような状況だからこそ、今、錦江町として安心した生活基盤や産業づくり、希望にあふれる学びの創出を循環させる流れを作ることは、将来の日本全体のまちづくりの羅針盤になると考えています。

だからこそ、「人への投資」を中心に、町民の皆さんと知恵や知識、身体力、絆、お互いを応援する寛容性を更に強化し、人口減少に抗う「筋肉質な錦江町」へと進んでいくことが重要だと思います。

世代、国籍、環境を問わず、すべての人が「共生できる錦江町」づくりのために、歴史や文化、生業、暮らしなどの錦江町固有の価値を基盤としつつ、町民の皆さんの小さな幸せを生み出すための施策を模索・挑戦し、経済、環境、社会の各分野が持続できるまちづくりのために、これからも「元気、誠実、スピード」を私の行動指針として町政運営にあたっていく決意でございます。

議員の皆さま、町民の皆さまのご指導、ご支援を心からお願い申し上げます、私の所信表明とさせていただきます。

令和 8 年 3 月 3 日

錦江町長 新田 敏郎